2. アメリカにおける WKS82/130-9-1 輸入許可書類

(注:本図に記載された情報に係る権利及び内容の責任は申請者にある。)



Animal and Plant Health Inspection Service

Biotechnology Regulatory Services

4700 River Road, Unit 147 Riverdale, Maryland 20737-1236

July 6, 2004

Jackson & Perkins P.O. Box 1329 6500 Donlon Road Somis, CA 93066

Your notification request has been acknowledged and may be executed according to 7 CFR 340.3(c). You are authorized to initiate this importation from July 6, 2004, through July 6, 2005.

Notification no. 04-173-02n (JP 002) Regulated article - Rose Origin - Japan Destination - California

This acknowledgment letter must be provided to all cooperators.

You must comply with the performance standards as stated in 7 CFR 340.3(c). You or any of your cooperators who will be involved in handling the regulated article must be prepared with a written or verbal description of the methods to be employed to meet each performance standard. All packages must be clearly labeled as to content, and notification number must be prominently displayed on package.

See the (attached) information on importation.

The State of California concur with APHIS determination, however, shipments of Rosa hybrida plant material shall meet any applicable USDA foreign entry requirements. Permittee shall notify the Office of the Ventura County Agricultural Commissioner upon arrival of shipments (805) 933-8415.

In addition, contact Ms. Karen Brady at (301) 734-5208 to find out if a Departmental Permit is required.

A copy of this letter of acknowledgment will be sent to the receiving State Regulatory Official, and the Officer-in-Charge at the San Francisco Inspection Station.

Sincerely,

Many Julian ...
Mary Jackson, Regulatory Specialist
Biotechnology Program Operations
Regulatory Division Biotechnology Regulatory Services

Enclosure

S. Brown, California Dept. of Food and Agric., Sacramento, CA OIC, San Francisco Plant Inspection Station, San Francico, CA

APHIS- Protecting American Agriculture

An Equal Opportunity Employer

「 隔離ほ場周辺の植生調査 」

1. 隔離ほ場周辺の植生調査

1

「隔離ほ場周辺の植生調査」

1. 隔離ほ場周辺の植生調査

[目的]

隔離ほ場周辺の生物相を調査し、遺伝子組換えバラと交雑可能な植物種の存在を把握する。

[調査方法]

平成17年5月に隔離ほ場の周囲に自生している野生植物を調査し、採取後、分離同定した。さらに平成17年5月及び8月に隔離ほ場から1kmの圏内(図1)に自生しているバラ科植物を調査し、採取後、分類同定した。隔離ほ場から500mの圏内に自生が認められたバラ属の近縁野生種については、その自生場所、種類、生育状況を調査した。

[結果と結論]

隔離は場の周囲に自生していた野生植物は、トクサ科(スギナ)、ゼンマイ科(ゼンマイ)、 ウラジロ科(ウラジロ、コシダ)、イノモトソウ科(ワラビ)、オシダ科(ベニシダ、クサ ソテツ)、マツ科(アカマツ)、ヒノキ科(ネズ)、ヤナギ科(ヤマナラシ)、ブナ科(アラ カシ、コナラ、ナラガシワ、クリ、シラカシ)、クワ科(アオコウゾ、コウゾ)、アリノト ウグサ科 (アリノトウグサ)、ウコギ科 (タラノキ、コシアブラ、タカノツメ)、セリ科 (セ リ)、リョウブ科(リョウブ)、ツツジ科(ヤマツツジ、コバノミツバツツジ、シャシャン ボ、ネジキ、ナツハゼ)、ヤブコウジ科(ヤブコウジ)、サクラソウ科(オカトラノオ、ヌ マトラノオ)、カキノキ科(カキ)、モクセイ科(ネズミモチ)、リンドウ科(ツルリンドウ)、 ガガイモ科(タチカモメヅル)、アカネカ科(ヘクソカズラ)、クマツヅラ科(クサギ)、バ ラ科(ミヤコイバラ、フユイチゴ、ニガイチゴ、クマイチゴ、モミジイチゴ、オヘビイチ ゴ、ヤマザクラ、ウワミズザクラ、カスミサクラ、カマツカ、ザイフリボク、ボケ、ワレ モコウ)、マメ科 (ハネミイヌエンジュ、フジ、ヤマフジ、ナツフジ、ヤブツルアズキ、ヤ マハギ)、カタバミ科(カタバミ)、トウダイグサ科(アカメガシワ)、ミカン科(イヌザン ショウ、カラスザンショウ)、ウルシ科(ヤマハゼ、ヤマウルシ、ヌルデ)、カエデ科(ウ リカエデ)、モチノキ科 (イヌツゲ、ソヨゴ、クロガネモチ、ナナミノキ)、クロウメモド キ科 (イソノキ)、ブドウ科 (ノブドウ)、スミレ科 (ニョイスミレ、ナガバノタチツボス ミレ、アオイスミレ)、タデ科(ギシギシ)、モクレン科(ホオノキ、タムシバ)、シキミ科 (シキミ)、クスノキ科(クロモジ)、アケビ科(ミツバアケビ)、ツヅラフジ科(ツヅラフ ジ)、ツバキ科(ヒサカキ)、ユキノシタ科(ウツギ)、ゴマノハグサ科(ママコナ)、オオ バコ科 (オオバコ)、スイカズラ科 (コバノガマズミ、スイカズラ)、キク科 (アキノキリ ンソウ、シラヤマギク、ヒメジョオン、ニガナ、サワヒヨドリ、ヒヨドリバナ、コウヤボ ウキ、チチコグサ、ハハコグサ)、ユリ科(サルトリイバラ、オオバジャノヒゲ、ジャノヒ

ゲ、ノギラン)、ヤマノイモ科(ヤマノイモ)、イグサ科(イ)、イネ科(ケネザサ、メリケンカルカヤ、チガヤ、トダシバ、ススキ)、カヤツリグサ科(ナキリスゲ、アゼスゲ)、ラン科(シュンラン)の52科109種類であった。

隔離は場から 1km の圏内に自生していたバラ科植物は、ミヤコイバラ、ノイバラ、ヤブイバラ、フユイチゴ、ニガイチゴ、クマイチゴ、クサイチゴ、ビロードイチゴ、コジキイチゴ、モミジイチゴ、オヘビイチゴ、ヤマザクラ、ウワミズザクラ、カスミサクラ、コヒガンザクラ、カマツカ、ケカマツカ、ザイフリボク、ボケ、ワレモコウ、キンミズヒキ、ミヤマツチグリ、ミツバツチグリであった。これらのうち、遺伝子組換えバラと交雑する可能がある野生種として特定されたのは、ミヤコイバラ、ノイバラ、ヤブイバラの1種と2変種であった。図1にこれらの自生場所を示した。

さらに、隔離は場から 500m の圏内に自生していたミヤコイバラ、ノイバラ、ヤブイバラの自生場所、生育状況等について詳細な調査を行い、その結果を表 1 に示した。なお、これらは各自生場所において複数個体存在すると考えられたが、野生種は吸枝による繁殖が可能であるためその個体数を特定することは困難である。このため、表 1 には各自生場所における平均的な株についての調査結果を示した。

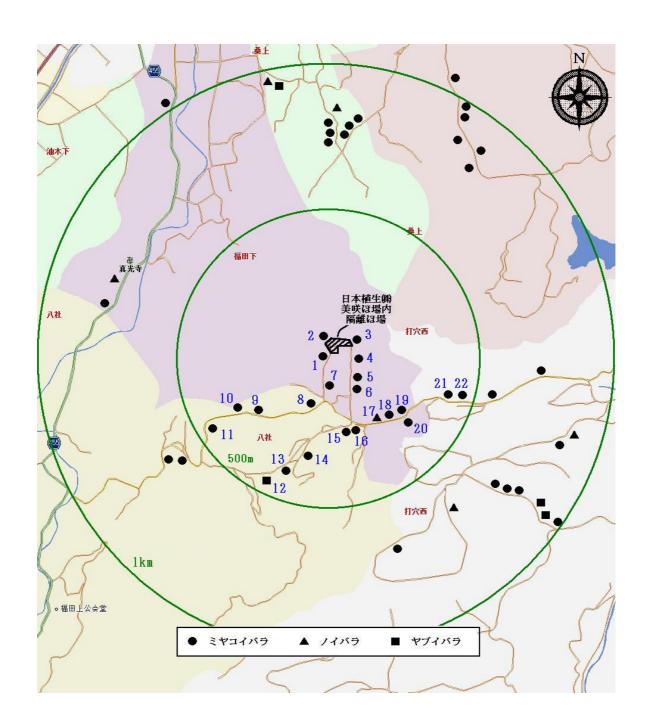


図1. 隔離ほ場周辺 (1km 圏内) に自生するバラ属近縁野生種の分布図 ※図中に記載した番号は、隔離ほ場より 500m の圏内に自生するバラ属近縁野生種の自生場所の識別番号を示す。

(注:本図に記載された情報に係る権利及び内容の責任は申請者にある。)